

ひるば

敷居の低い癒しの場としての病院を目指して

〒651-2403
神戸市西区岩岡町西脇838番地
TEL 078-967-1202(代表)
FAX 078-967-3626
URL <http://www.tohokai.jp/>
Email office@tohokai.jp

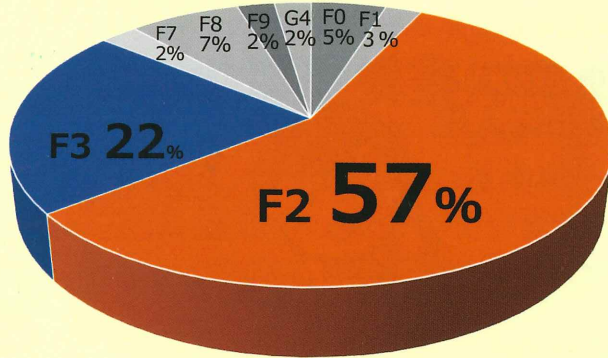


最近の関サナについて 救急病棟を中心に紹介します

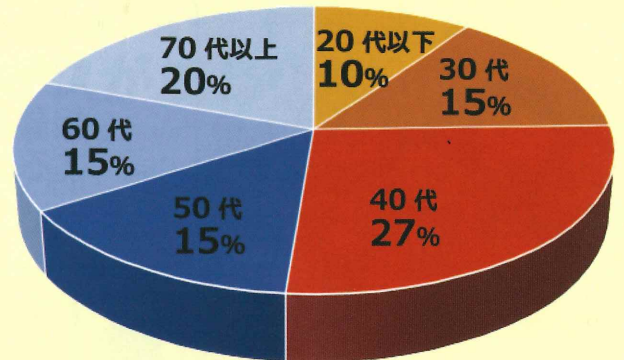


救急病棟に入院された方の疾病別割合では統合失調症圏が最多で57%、次いで気分障害圏が21%でした。
年齢別割合では40代以下の方が半数を占めていました。入院前の通院状況としては、**当院以外の医療機関に通院している方が66%で最多でした。**
多くの医療機関からご紹介をいただいたことを表す結果となりました。

疾病別入院者割合

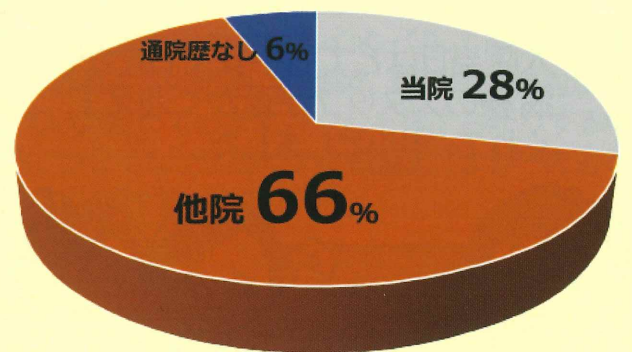


年齢別入院者割合



- F0 症状性を含む器質性精神障害
- F1 精神作用物質による精神及び行動の障害
- F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- F3 気分（感情）障害
- F4 神経症性障害、ストレス関連障害
及び身体表現性障害
- F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
- F6 成人の人格及び行動の障害
- F7 知的障害（精神遅滞）
- F8 心理的発達の障害
- F9 小児（児童）期及び青年期に通常発症する
行動及び情緒の障害

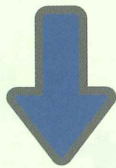
新規患者通院先割合



**これからも、「敷居の低い癒しの場」として、
ひきつづきご紹介をいただける「関サナ」であり続けます**

Aさんの入院までのお話

Aさんは幻聴がひどくて
眠れない日が続きました。



【これまでのいきさつ】

Aさんは45歳の男性です。
80歳のお母さんと2人暮らしです。
精神科のクリニックには月1回通院し、近所の
就労継続支援B型事業所に週3回通っていま
した。
先月お母さんが転んで骨折。家事ができなくな
りました。Aさんは「お母さんの分も」と頑張っ
ていましたが、少しずつ疲れがたまってきたよう
です。



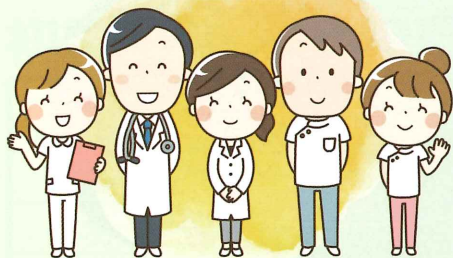
かかりつけのクリニッ
クに受診すると主治医
の先生から病状が悪化
していると説明があり
ました。



主治医の先生が紹介状を
書いて、関西青少年サナト
リユームの地域連携室へ
電話をしてくれました。



Aさんは地域連携室の人と
相談をして、○月×日に入院
することにしました。



入院当日はとても不安でしたが、
病棟のスタッフが温かく迎えて
くれて、ホッとしました。



現在

入院治療を終え、退院しました。
もとのかかりつけのクリニックに
通院しながら地域生活を送って
います。



Aさんのように、普段はクリニックに通院しながら安定した地域生活を送る方はたくさんおられます。ご家族の病気やケガなど、生活上の変化は精神症状の一時的な悪化につながることもあります。そんな時にはぜひ関サナにご相談下さい。

今後も入院・受診のご相談は地域連携室へ!

078-967-1202

入院相談 受診相談

ハイ!
地域連携室です

最近のお問い合わせより

関サナに入院したいけど、
いっぱい入院できない、
って聞きました。
いまどんな感じですか?

やむを得ず満床のため
お断りすることがあったかも
しれませんが、現在は解消しています。
今後、さらに受け入れ体制を強化して
いきますので安心してご相談ください。

関サナで診てもらえるか
わからない症状です。
どんな症状の時に
受診できますか?

まずはお気軽に
地域連携室にお電話ください。
当院より適切な医療機関・支援機関が
ある場合はお伝えします。

地域連携室にニューフェイスが加わりました

精神科救急病棟、急性期病棟の運用スタートから1年を過ぎ、地域の関係機関の皆さまから多数のご紹介やご相談をいただいています。よりスムーズにご依頼に対応できるように地域連携室に病棟師長経験のある看護師が配属されました。

6月から地域連携室に配属
されました。以前は救急病棟の
師長を務めていました。
どうぞよろしくお願いします。



地域連携室 室長
渡邊 智子



Q どのような業務を担当していますか?

A 毎日各病棟を回り患者さんの状態やベッド使用状況を聞き取って、病院全体の空床状況の把握と分析をしています。入院のご相談に対しては、退院後の生活もイメージして最適な治療環境でお受け入れできるように医師、看護師、精神保健福祉士と多職種で対応させていただいています。やむを得ずお断りする場合も他の相談機関につなぐなど、関サナに電話してよかったと思っていただけるように心がけています。

Q 関サナの強みはどんなところですか?

A 一人一人のスタッフが「患者さん中心」に考えて、必要な医療や福祉を効果的に提供できるように多職種で協力しているところです。

Q 趣味はなんですか?

A 草花や虫を眺めることが大好きです。時間が許せば何時間でも無心に眺めてたいです。

お医者さんを紹介します



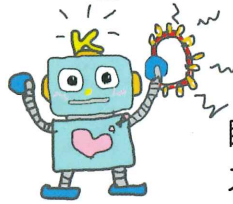
あかほり さき
赤堀 紗季先生

出身:千葉県
趣味:音楽を聞くこと

気さく

熱心

演奏家



仕事をしていてどんなところに
やりがいを感じますか？

患者さんやご家族の生活、人生に深く関わる仕事です。
みなさんの生活をより良くするための手助けができる
ところです。

今後していきたいことは？

目の前の患者さんと向き合っていきたいと思います。
スモールステップ※も担当するようになり、より退院後の
生活を身近に感じられるようになりました。
今まで以上に生活全般のことを見ていきたいです。
(※就労継続支援・就労移行支援・就労定着支援 Small Steps)

みなさんに一言どうぞ

誠実な対応を心がけています。よろしくお願いします。



外来再診担当医

受付時間 8:50~15:00

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:15~12:00	狩場 9:40~	鬼頭	内藤	瀬川	佐伯	当番医
午後診 13:00~16:50	朴	西村	岡本	瀬川 14:00~15:00 中井	頼 藤堂	

初診外来・入院 担当医

曜日毎に以下の常勤医師が初診の診療にあたります(順不同)

月	火	水	木	金	土
佐伯	内藤	頼	佐伯	瀬川	当番医
赤堀	中井	鬼頭	狩場	朴	
岡林	岡本	朴	藤堂	中井	
伊藤	伊藤	狩場	大崎	岡本	
高尾	高尾	藤堂	伊藤	赤堀	
		大崎	高尾	岡林	
		岡林		伊藤	

専門外来担当医のご案内

☆ <児童思春期外来> 毎週月曜午後 **完全予約制** (担当: 内藤医師)

☆ <発達障害専門外来> 第3金曜午後 (月1回) **完全予約制** (担当: 上月医師)

編集後記

編集作業中の現在は8月初旬。コロナ第5波の到来を感じさせるものの、世の中はオリンピックが話題の中心という様相です。

2019年末からのコロナ禍は医療・経済のみでなく私たちのところにも多くの負の影響をもたらしている実感するところですが、この「ひろば」が皆さんのお目にかかるころ、世の中が大事には至っていないよう祈りつつ、私たちも感染対策を周知徹底し、コロナ禍でも平時通りの精神科医療を行えるよう努めて参る所存です。最後までお目通しいただきありがとうございました。

(医局: 狩場一郎)

